

4  
下段子  
聖徒伝 163

「主を知ることに  
満たされ尽くそう」

イザヤ書10～11章

エッサイの根・千年王国

## アウトライン

0. イントロダクション

I. アッシリアへの裁き 10章

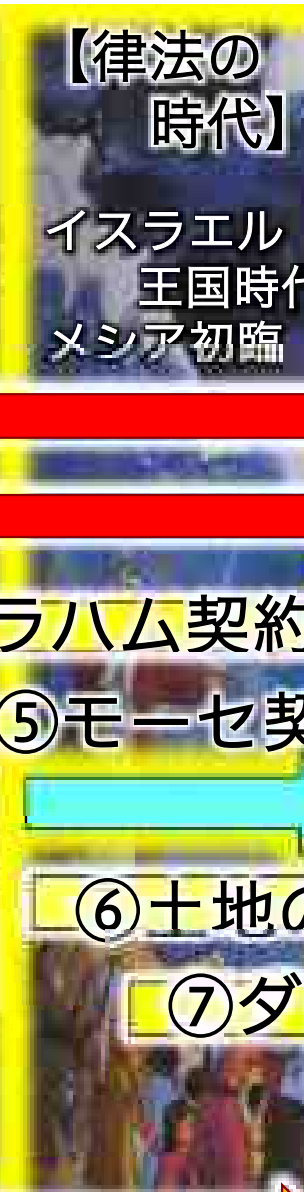
II. エッサイの根・千年王国 11章

III. まとめと適用

神の永遠の視点で

今に向き合おう





【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪  
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム  
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル王国時代  
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

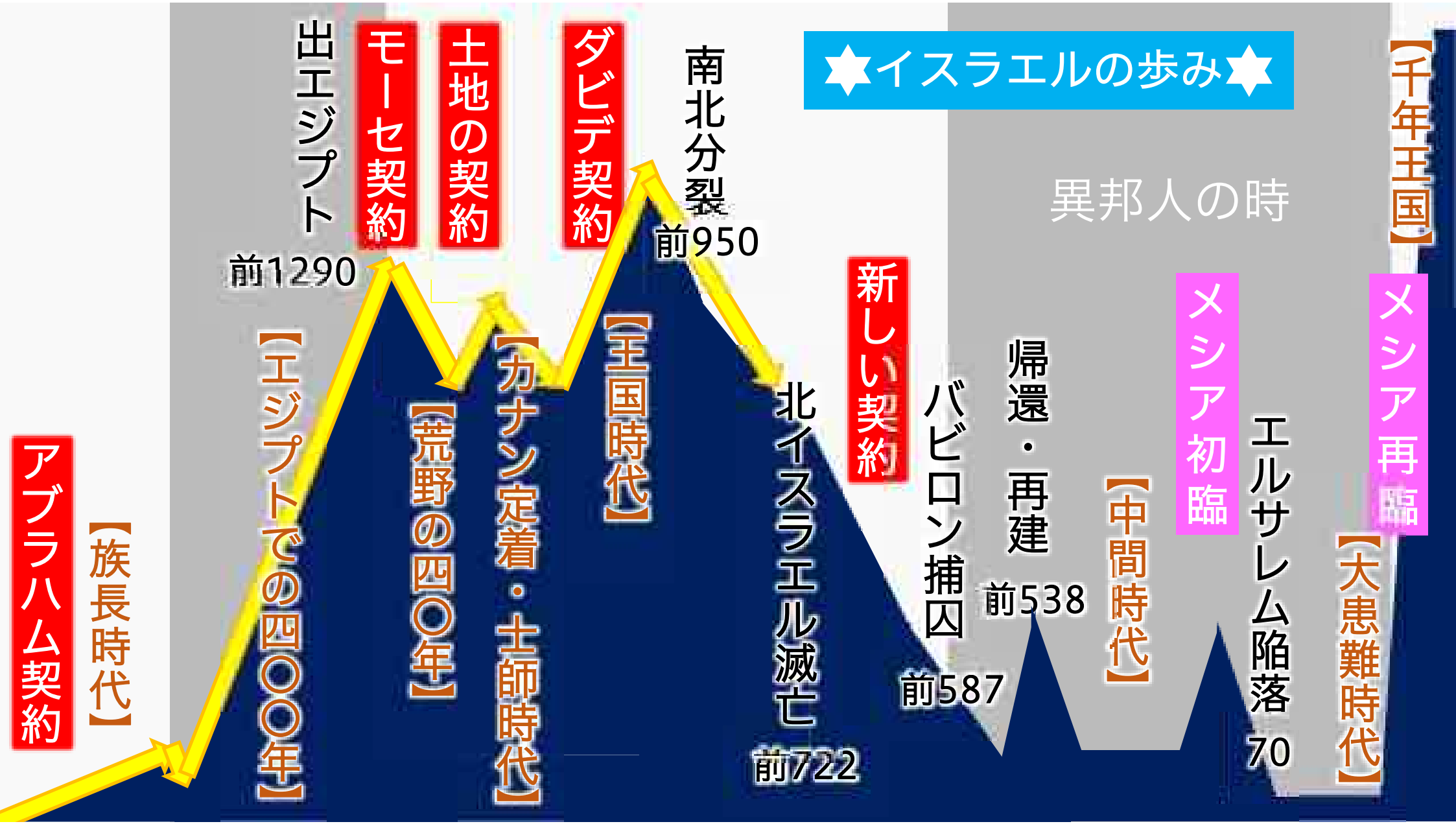
神の約束こそが  
その時代の守り

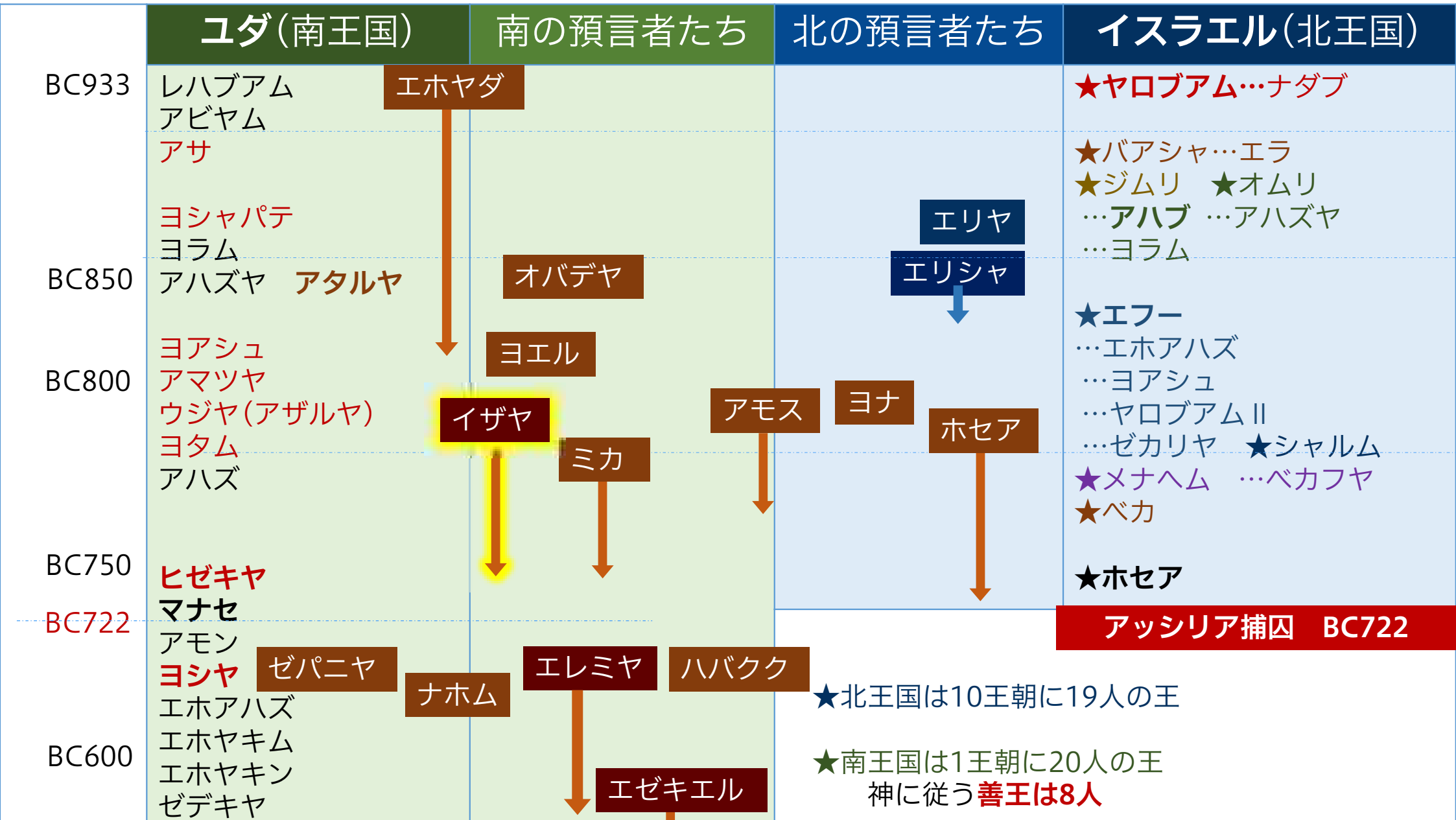
過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★





## 預言者イザヤとは？

- イザヤ = “ヤハウエは救い”
- エルサレム在住。貴族。アマツヤ王の甥。結婚し、二人の子がいた。
- 北王国に捕囚の滅亡が迫る時代の**南王国**で活躍。ウジヤ→ヨタム→アハズ→ヒゼキヤの時代。60年に及ぶ奉仕期間。ミカとは同世代。
- 間近に迫った裁きを告げ、悔い改めを迫った。将来の捕囚の民をも意識し、帰還の希望を語り、さらには、究極的な**メシア的王国**の建設を予告。



鍵を握るのは  
“イスラエルの  
残れる者”

## イザヤが仕えた南王国の4人の王の時代

- ①ウジャヤ(善王)…南王国の最盛期。背いて病死。
- ②ヨタム(善王)…先代からの衰退をとどめられず。
- ③アハズ(悪王)…偶像崇拜が最悪の状態に。  
アラム、北王国の征服の危機に。
- ④ヒゼキヤ(善王)…偶像を取り除く。  
アッシリアの侵略は免れた。

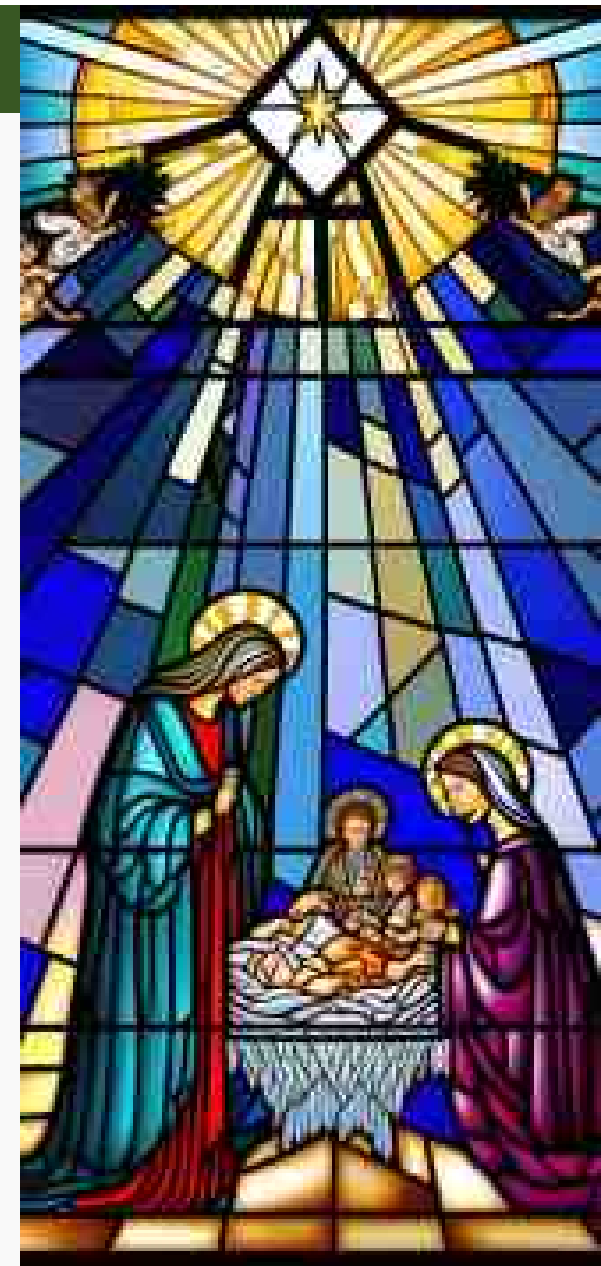
重大なメシア預言が告げられた



## 悪王アハズに告げられたメシア預言 7～9章

- ① **インマヌエル**なるメシアは、**処女から誕生**。7:14  
(共におられる神)
- ② **インマヌエル**なるメシアが、全世界の侵略から  
イスラエルを救う。8:8～10
- ③ メシアは、**ガリラヤ**で神の栄光を示す。9:1～2
- ④ メシアは赤子として生まれ、**神の権威ある名**で  
呼ばれる。**永遠の王国**を建設する。9:6～7

(※7～9章は、聖徒伝148回で確認ください!!)





北王国  
イスラエル

南王国  
ユダ

ホセア

アモス

ベカ

20年

ホセア

9年

混沌の時代

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②

ヤロブアムⅡ

41年

ゼカリヤ

6ヶ月

シャルル

1ヶ月

メナヘム

10年

ベカフヤ

2年

滅亡の時代

南北時代の最盛期

ヨナ

29年

アマツヤ ♡

ウジヤ ♡

52年

ヨタム ♡

16年

アハズ ☠

16年

ヒゼキヤ ♡

29年

ミカ

イザヤ

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



# 【預言者たちの告げたこと】



南北時代

➡ ① 直近の  
苦難

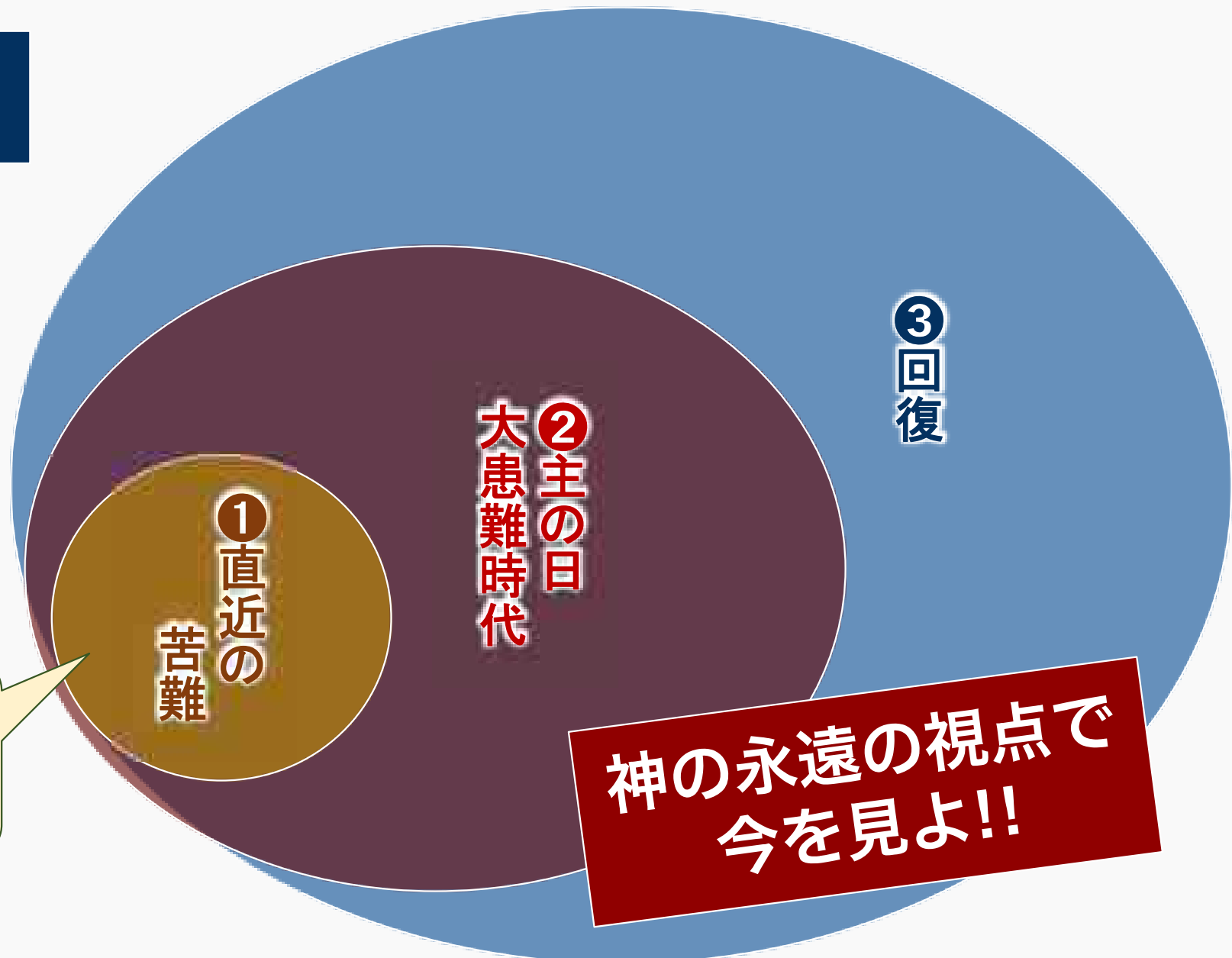
メシア初臨

➡ ② 主の日  
大患難時代

➡ ③ 回復

メシア再臨

# 預言の多重構造



個々の境は  
シームレス

神の永遠の視点で  
今を見よ!!



# Ⅰ. アッシリアへの裁き

イザヤ書10章

アッシリアの浮彫

## 罪の告発 北王国の罪 イザヤ10:1~2

わざわいだ\*。不義の掟\*を制定する者、不当な判決を書いている者たち。

彼らは弱い者の訴えを退け、私の民のうちの貧しい者の権利をかすめる。こうして、やもめは彼らの餌食となり、みなしごたちは奪い取られる。

\*北王国への裁きの宣告 →9章からの続き。

\*律法以外の独自の掟を制定していた？

→金の子牛を設置。独自の宗教組織に加えて

■弱者の保護は、律法が再三記す重要な規定

→信仰の実が試されるところ



## 罪の告発 アッシリア侵略 イザヤ10:3～4

訪れの日\*、遠くから嵐\*が来るときに、あなたがたはどうするのか。だれに助けを求めて逃げ、どこに自分の栄光を残すのか。

ただ、捕らわれ人の足もとに膝をつき、殺された者たちのそばに倒れるだけだ。それでも御怒りは収まらず\*、なおも御手は伸ばされている。

\*アッシリアによる侵略の時

\*アッシリアを裁きの器として神の怒りが下る。



## アッシリアの裁き 略奪 イザヤ10:5~6

「ああ、アッシリア\*、わたしの怒りのむち。わたしの憤りの杖は彼らの手にある。

わたしは、これを神を敬わない国に送り、わたしが激しく怒る民を襲えと、これに命じる。物を分捕らせ、獲物を奪わせ、道端の泥のように、これを踏みにじらせる。」

\*北の大国アッシリア

■神は、アッシリアを裁きの器として用い、背教を重ねて来た北王国を裁かれる。





## アッシリアの裁き 征服者 イザヤ10:7~8

しかし、**彼**自身はそうとは思わず、**彼の**心もそうは考えない。**彼の**心にあるのは滅ぼすこと、少なからぬ国々を絶ち滅ぼすことだ。

というのは、**彼\***がこう思っているからだ。

『私の高官たちはみな王ではないか。カルノもカルケミシュのよう、ハマテもアルパデのようではないか。サマリアもダマスコのようではないか。』

- **アッシリア王\***にとっては、サマリアも、数多くの征服地の一つに過ぎない。



## アッシリアの裁き 征服心 イザヤ10:10

「エルサレム、サマリアにまさる刻んだ像を持つ、偽りの神々の王国を私が手に入れたように、私はサマリアとその偽りの神々にしたように、エルサレムとその多くの偶像にも同じようにしないだろうか』と。」

- この時代の戦いは神々の戦い。
  - ➔ アッシリアの勝利は、彼らの神の勝利。
- エルサレムをも滅ぼそうとする王は、イスラエルの神をも、偶像の一つとしか考えていない。

主への不遜がアッシリアの滅びを招く



## アッシリアの裁き 奢り イザヤ10:12~13

主はシオンの山、エルサレムで、ご自分のすべてのわざを成し遂げるとき\*、アッシリアの王の思い上がった心の果実、その高ぶる目の輝きを罰せられる。それは彼がこう言ったからである。「私は自分の手の力でやった。私の知恵でやった。私は賢いからだ。私が諸国の民の境を取り払い、彼らの蓄えを奪い、全能者のように住民をおとしめた。」

\*世の終わりの裁きするとき

■裁きの器アッシリアも、裁きの対象に!!



## アッシリアの裁き 高ぶり イザヤ10:14

「私の手は、諸国の民の財宝を巢のようにつかみ、私は、見捨てられた卵を集めるように地のすべてのものを集めたが、翼をはためかす者も、口を大きく開ける者も、鳴く者もいなかった\*。」

\*タマゴを奪っても、騒ぐ親鳥はいない。

■ 暴虐の限りを尽くしたアッシリアに、刃向かう者はいなかった。



## アッシリアの裁き 警告 イザヤ10:1516

斧は、それを使って切る人に向かって高ぶることができるだろうか。のこぎりは、それをひく人に向かっておごることができるだろうか。それは、むちが、それを振り上げる人を動かし、杖が、木ではない人間を持ち上げるようなものではないか。

それゆえ、万軍の【主】、主はその最も肥え太った者たちをやつれさせ、その栄光のもとで、炎が燃え上がる。

■ 傲慢なアッシリアに主の裁きが下る!!



## アッシリアの裁き イザヤ10:17~19

イスラエルの光\*は火となり、その聖なる方\*は炎となる。燃え上がって、そのおどろと茨を一日のうちになめ尽くす。

主はその美しい林も果樹園も、また、たましいも、からだも滅ぼし尽くし、それは病人が痩せ衰えるときのようになる。

その林の木の残りは数えるほどになり、子どもでもそれらを書き留められる。

\*イスラエルの栄光 = 聖なる方

➔究極的には、裁き主・王なるメシア



## 千年王国 民族的回心 イザヤ10:20~21

その日\* になると、イスラエルの残りの者、ヤコブの家の逃れの者は、もう二度と自分を打つ者に頼らず、イスラエルの聖なる方、【主】に真実をもって頼る。残りの者、ヤコブの残りの者は、力ある神に立ち返る。

\*主の日・大患難時代

➔1/3のイスラエルが生き残り、民族的回心に至る。



## 千年王国 定められた全滅 イザヤ10:22~23

たとえ、あなたの民イスラエルが海の砂のようであっても、その中の残りの者だけが帰って来る\*。壊滅は定められ、義があふれようとしている。

すでに定められた全滅\*を、万軍の【神】、主は、全地のただ中で起こそうとしておられる。

\*回心したイスラエルは、全世界の離散から帰還。

\*再臨のメシアによる裁き。

➔地上から一切の悪と不信仰者は根絶される。





## アッシリアの裁き 終焉 イザヤ10:24~25

それゆえ、万軍の【神】、主はこう言われる。  
「シオンに住むわたしの民よ、アッシリアを  
恐れるな。彼がむちであなたを打ち、エジプ  
トがしたように杖をあなたに振り上げても。

もうほんの少しでわたしの憤りは終わり\*、  
わたしの怒りは彼らを滅ぼしてしまうから。」

\*アッシリア捕囚から百年後には衰退、滅亡。

→一時期は、エジプトまで支配したが、  
最盛期は50年も続かなかった。



## アッシリアの裁き 解放 イザヤ10:26~27

オレブの岩でミディアンを打った\*ときのように、万軍の【主】が彼にむちを振り上げる。杖を海にかざして、エジプトにしたようにそれを上げる。その日になると、彼の重荷\*はあなたの肩から、彼のくびきはあなたの首から除かれる。くびきは脂肪\*のゆえに外される。」

\*荒野でのイスラエルの最初の戦いの勝利。

\*アッシリアから解放される。

\*献げ物の肉の最上の部位が脂肪。



## アッシリアの裁き 経路 イザヤ10:28～29

彼はアヤテに着き、ミグロンを過ぎ、ミクマスに荷を置く。彼らは峠を過ぎ、ゲバで野営する。ラマはおののき、サウルのギブアは逃げる。娘ガリムよ、甲高く叫べ。よく聞け、ライシャよ。哀れなアナトテ。マデメナは逃げ去り、ゲビムの住民は避難する。

■ アッシリアが南王国に侵入する際の  
その経路にある町々の名が記される。



## アッシリアの裁き 介入 イザヤ10:32~34

その日のうちに彼はノブで立ちとどまり、娘シオンの山、エルサレムの丘に向かって手を振り上げる。

見よ、万軍の【主】、主が恐ろしい勢いで枝を切り払われる。丈の高いものは切り倒され、そびえたものは低くなる。

主は林の茂みを鉄の斧で切り倒し、レバノンには力強い方によって倒される。

■ アッシリアによる破滅を免れるエルサレム。

➔ 主が守られた(ヒゼキヤ王の時代)





II. エッサイの根・千年王国

イザヤ書11章

ヘルモン山

## メシア預言 エッサイの根 イザヤ11:1~2

エッサイ\*の根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

その上に【主】の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、思慮と力の霊、【主】を恐れる、知識の霊である。

\*ボアズ➡オベデ➡エッサイ➡ダビデ

ダビデは、「エッサイの子」

「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制。ガラテヤ5:21~22」

**メシアはダビデの子孫に生まれ、神の霊と完全に一体!!**



## メシア預言 裁き主 イザヤ11:3~5

この方は【主】を恐れることを喜びとし、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、正義をもって弱い者をさばき、公正をもって地の貧しい者のために判決を下す。口のむちで地を打ち、唇の息で悪しき者を殺す。正義がその腰の帯となり、真実がその胸の帯となる。

- メシアは、慈悲深く公正に信仰者を治め、不信仰者には、厳しい裁きを下される。



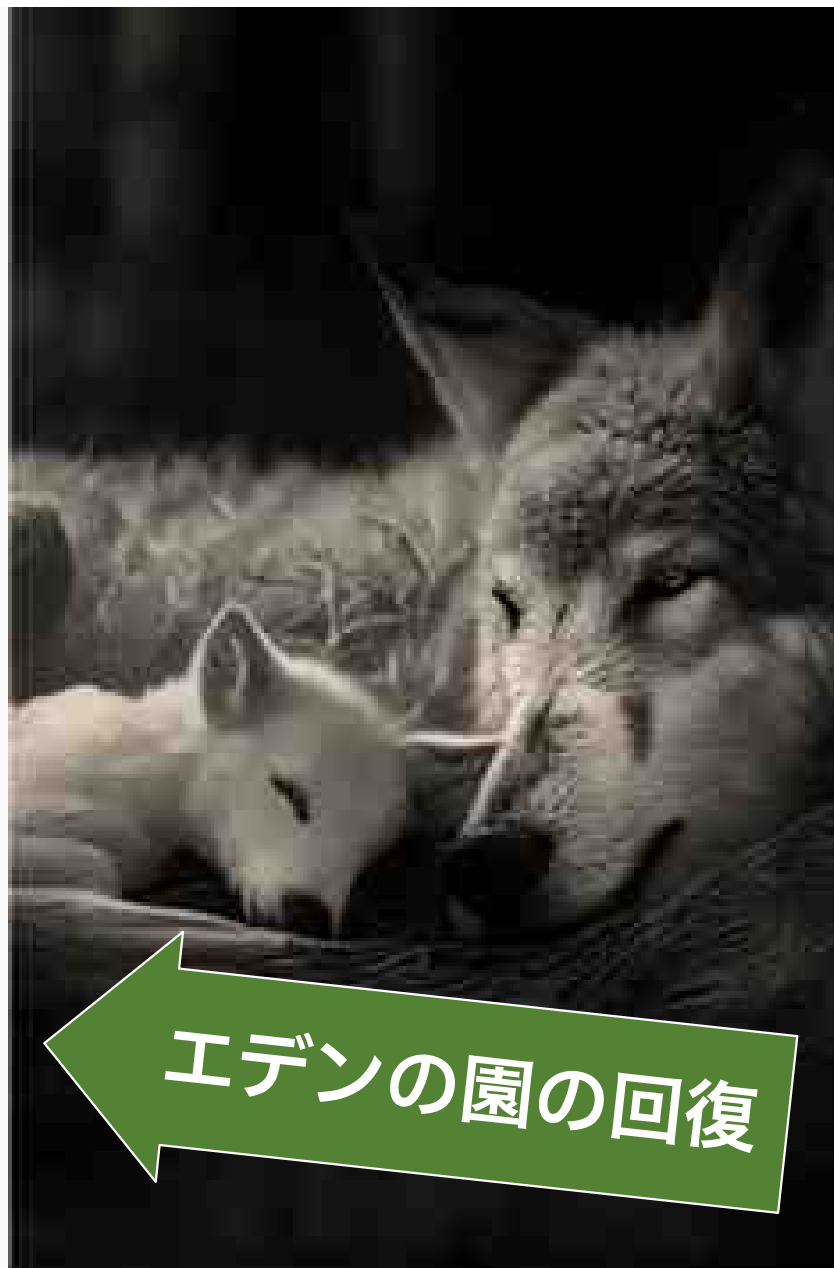
## 千年王国 神の平和 イザヤ11:6~7

狼は子羊とともに宿り、豹は子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜がともにいて、小さな子どもがこれを追って行く。

雌牛と熊は草をはみ、その子たちはともに伏し、獅子も牛のように藁を食う\*。

「創1:30 生きるいのちのある、地のすべての獣、空のすべての鳥、地の上を這うすべてのもののために、すべての緑の草\*を食物として与える。」

→動物の肉食も罪の結果として生じた



エデンの園の回復



## 千年王国 主の知識 イザヤ11:8~9

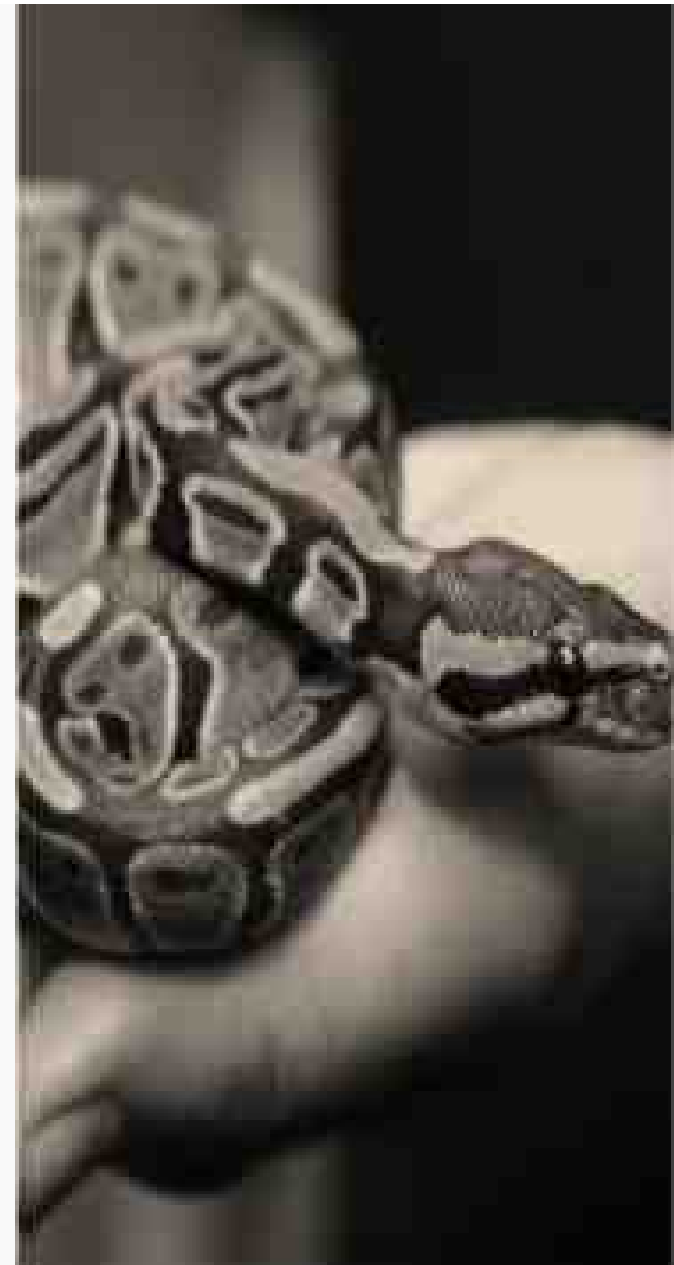
乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れした子は、まむしの巢に手を伸ばす。

わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、滅ぼさない。【主】を知ること\*が、海をおおう水のように地に満ちる\*からである。

\*ダヤー…知識

■世界を造られたのは、神のことば。

神の平和で世界をみたすのは、主の知識。



## メシア預言 栄光の輝き イザヤ11:10

その日になると、エッサイの根\*はもろもろの民の旗として立ち\*、国々は彼を求め、彼のとどまるところは栄光に輝く\*。

\*メシアであると、ここではより明確に!!

\*全民族を治める王

\*メシアご自身が神の栄光を輝かせる。



## 千年王国 集められる民 イザヤ11:11~12

その日、主は再び御手を伸ばし、**ご自分の民の残りの者\***を買い取られる。彼らは、アッシリア、エジプト、パテロス、クシュ、エラム、シニアル、ハマテ、海の島々に残っている者たちである。主は国々のために旗を揚げ、**イスラエルの散らされた者\***を取り集め、**ユダの追い散らされた者\***を地の四隅から集められる。

\*大患難時代を生き延びた1/3のイスラエル

■王となられたメシアが、イスラエルの残りの者すべてを、都エルサレムに集められる。



## 千年王国 一つとなる民 イザヤ11:13~14

エフライムのねたみ\*は去り、ユダに敵する者は断ち切られる。エフライムはユダをねたまず、ユダもエフライムを敵としない。

彼らは西の方、ペリシテ人の肩に飛びかかり、ともに東の子らからかすめ奪う。彼らはエドムとモアブにも手を伸ばし、アンモン人も彼らに従う。

\*北王国に都、神殿はなかった →金の子牛を

■イスラエル、ユダは、完全に一つの民ととなり、敵を破り、諸民族を支配する。



## 千年王国 エジプトの末路 イザヤ11:15

【主】はエジプトの海の入江を干上がらせ\*、また、その焼けつく風の中で御手をその川に向かって振り動かし、それを打って七つの水無し川とし、履き物のままで歩けるようにする。

\*エジプトの大河…地上の富の豊かさの象徴

■エジプトの大河が干上がる。

➔人間的な富や力、繁栄は完全に失われる。



## 千年王国 王国の大路 イザヤ11:16

残されている御民の残りの者のために\*アッシリアから大路が備えられる。イスラエルがエジプトの地から上って来た日に、イスラエルのために備えられたように。

\*イスラエルの残りの者のために

■世界に散らされたイスラエルの帰還のため、主が大路を備え、栄光の主ご自身が導かれる。

➡神の民の帰還は、神の都への凱旋!!





#### IV. まとめと適用

神の永遠の視点で今に向き合おう

オリーブの古木・イスラエル

## イザヤ11章が告げる、メシアの姿

- メシアは、エッサイの根、**ダビデ王の子孫**として来られる。
- メシアは、神の霊・**聖霊と完全に一体化**される。
- メシアは、**神の国の王**となり、全民族と全地を公正に支配される。
- メシアご自身が、**神の栄光**を輝かせる。
- メシアが、神の民**イスラエルの残れる者**を神の都に**帰還**させる。



## イザヤ11章が告げる、神の国・千年王国

- すべての動物は草をはむ。→最初の**エデンの園**の状態の回復
- **主の知識が全地を覆う**。→主を知らないとは誰も言わない。  
すべての人は、神を知り、神と一つとされている。
- 王国の都エルサレムに、**すべてのイスラエルの民が集められる**。  
寄留の民は一人もいない。
- 全イスラエルは、**神によって完全に一致**している。  
すべての恵みは、神から、そしてエルサレムから流れ出る。

## 神の永遠の視点で、私の今を生きるなら？

- 最善は、福音を信じて、**永遠の神との平和**を得ること。  
最悪は、主を拒み通し、神の怒りを受け、**永遠の滅び**に陥ること。

「II コリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。完全になりなさい。慰めを受けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。」

- 世の終わりの裁きを経ずに、神の国は来ないように、戦いを避けては、私の平和も勝ち取れない。

**わたし、あなたの戦いとは何だろうか？**

## ★ 私の戦いは、常に私の最も身近にあると覚えよう ★

■ 預言の対象は第一に、神の民・イスラエルの罪。

→ 主を信じない人に罪があるのは当前。問われるのは信仰者。

■ クリスチャンが、まず突きつけられるのは？

① まず第一に、**自分自身の罪**

② 共に歩む、クリスチャンの**家族の罪**

③ 共に連なる地域教会の信仰の**兄弟姉妹の罪**

この戦いは  
避けられない!!

■ 家族の平和も、教会の平和も、罪との戦いの結果、与えられるもの。

神を知る真実の知識を手に、戦いのただ中に身を投じていこう。

主の前にひざまずき、へりくだる者に、主が力を与えられる。

てん とう  
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、<sup>そむ</sup>罪を<sup>つみ</sup>重ねてきました。  
ひび おか つみ こくはく つみ  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、<sup>かみ</sup>神のみ子<sup>こ</sup>イエス・キリストが、  
<sup>つみ</sup>あがな <sup>じゅうじか</sup>し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

<sup>はか</sup> <sup>ほうむ</sup>

②墓に葬られ、

<sup>みつかめ</sup> <sup>ふっかつ</sup>

③三日目に復活した<sup>しん</sup>こと、を信じます。

ひび なか つ わたし かぞく きょうだいしまい つみ  
日々の中で突きつけられる、私、家族、兄弟姉妹の罪があります。

かいけつ ちから わたし  
解決する力など、私にはありません。

わたし しゅ しんらい む あ かなら わたし う くだ  
私は、主を信頼して、向き合います。必ず私は、打ち砕かれますから、

どうか、<sup>みたま</sup>御霊によって<sup>たす</sup>助け、主が<sup>しゅ</sup>備えられた<sup>そな</sup>道を開いてください。  
<sup>みち</sup> <sup>ひら</sup>

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」